



今後10年間のまちづくりの指針

町総合発展計画（令和4年度～令和13年度）を策定

令和4年度を初年度とする、新たな「町総合発展計画」の基本構想が、町議会3月定例会で可決されました。

新たな計画は、今後10年間のまちづくりの指針となるもので、町が行うすべての施策や事業は、この計画に基づいて実施します。

今月号では、計画の概要をご紹介します。

町民の皆さまからの意見を計画の策定に反映

計画の策定にあたり、町の施策に対する町民の皆さまの満足度やニーズを把握するため、昨年4月に「町民まちづくりアンケート」を実施しました。

また、各種団体や地区町内会の代表らを委員とした策定審議会を実施し、いただいた意見やアンケート調査の結果、町の現状・課題などを踏まえ、まちづくりの方向性などを整理し、今回の計画に反映させています。

未来に続く、五城目らしさの追求と創造

計画が目指す10年後の町の姿は「ひとが輝き、まちが輝き、そして未来が輝く五城目」です。

少子高齢化が進む中で、これからのまちづくりを推進していくためには、私たち一人ひとりが厳しい社会情勢を認識し、それを乗り越えていくため、人やまちを未来へ継承する持続可能なまちづくりを行っていくことが求められます。

そこで、「未来に誇れる現在をともに築くまちづくり」を計画の理念とし、先人が築き上げてきたまちの誇りや魅力である「五城目らしさ」をこれからも町民の皆さまとともに創り磨き上げ、未来へと繋げていくため、分野ごとに6つの基本目標を掲げ、それぞれの施策を実行しながら、暮らし続けたい、訪れてみたい、魅力あふれる町を目指します。



策定審議会での審議結果が取りまとめられ、3月4日に宮川東典会長（78歳・帝釈寺）から渡邊町長へ答申書が手渡されました。

6つの基本目標と主な施策

① 自然と調和した暮らしを支える“基盤づくり”

- 魅力ある景観の形成
- 住環境空間の整備
- 地域公共交通対策の推進
- 地球温暖化対策と新エネルギーの検討
- 地域防災力の強化

② 地域に賑わいと活力を生む“産業づくり”

- 農林業の振興と担い手の育成・確保
- 地場産業の育成支援による商工業の振興
- 企業誘致並びに雇用機会の創出
- 起業家の支援

③ 幸せに、自分らしく生きる“安心づくり”

- 子育て支援環境の充実および少子化対策
- 福祉の充実
- 高齢者の生きがいづくりの推進
- 保健対策の充実と医療体制の維持・連携強化

④ 郷土を育み、未来を担う“ひとづくり”

- 学校教育の充実
- 生涯学習の推進
- 多様なスポーツ活動の普及
- 伝統文化の継承

⑤ お互いの心がかよう“つながりづくり”

- 元気な地域づくりの推進
- 多様性に満ちたまちづくりの推進
- 移住・定住・交流事業の推進

⑥ 健全で持続可能な未来を目指す“地域経営”

- 健全な財政基盤の確保
- ニーズに対応した行政サービスの提供
- 公共施設等の維持管理

町の将来像

ひとが輝き、まちが輝き、そして未来が輝く五城目

総合発展計画が目指す10年後の町の姿です。この将来像を達成するため、7つの6つの基本目標に沿った各施策を進めます。

総合発展計画の構成



計画期間は令和4年度から令和13年度までの10か年とし、前期と後期それぞれ5か年の基本計画で構成します。